



# 社会インパクト可視化の取り組みについて

2024年12月3日  
NTTデータグループ

# アジェンダ

- 1 会社紹介**
- 2 可視化の取り組み**
- 3 定量・定性情報の開示検討**
- 4 対話における着目点**

**1**

**会社紹介**

2

可視化の取り組み

3

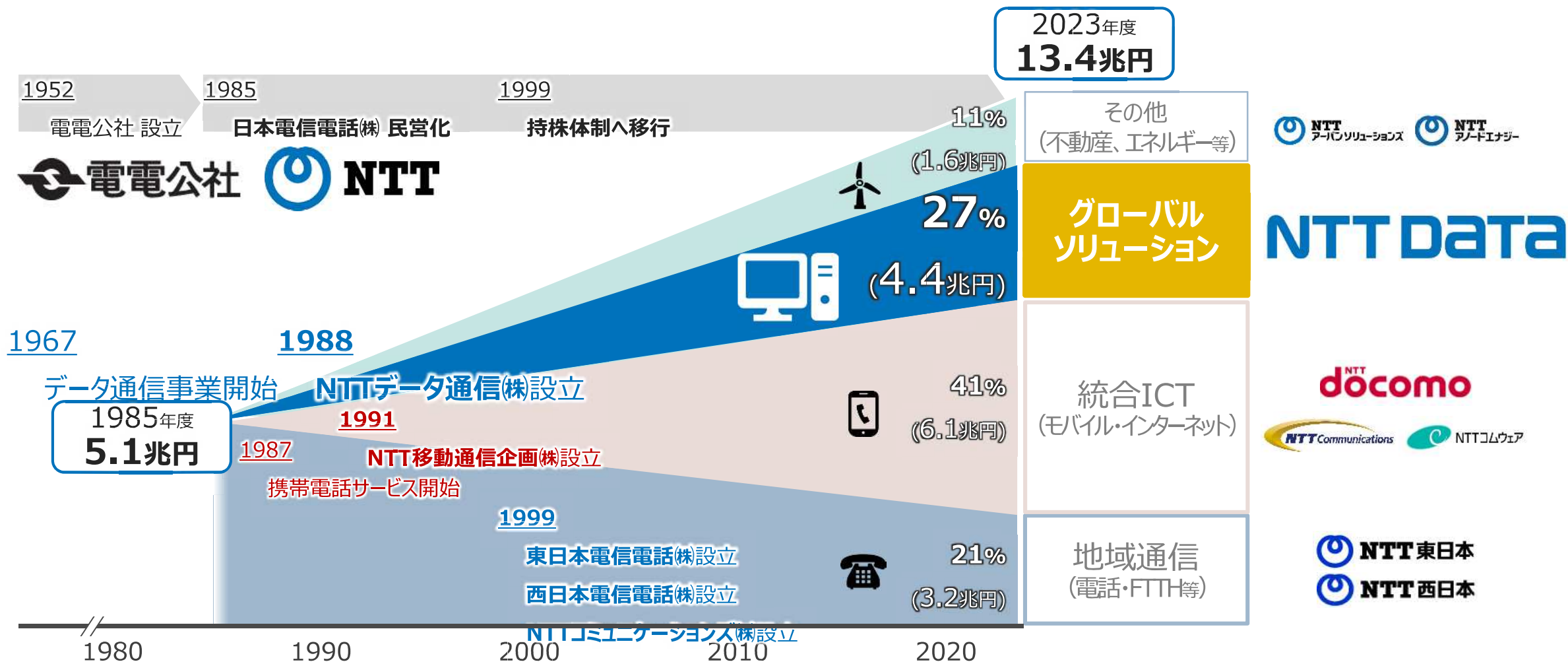
定量・定性情報の開示検討

4

対話における着目点

# NTTグループにおけるNTTデータ

NTTグループの中で、システムインテグレーション・ネットワークシステム・クラウド・データセンター事業を担う



# NTTデータグループの事業内容

## ITシステムの構想から、開発、維持運用、データセンター事業まで、 総合的なITサービスの提供が可能

### NTT DATAが提供する主なサービス

### NTT DATAの強み

#### 統合IT ソリューション

ITシステムの構想から開発、  
維持運用までを一元的に実施  
お客様・社会にITサービスを  
フルライフサイクルで提供



#### コンサルティング

お客様のビジネスをともに考え、  
ITシステム構築等の戦略・計画を策定

Foresight起点の目利き力

#### SI・ソフトウェア開発

お客様の情報システムの  
企画・開発・設計等

つくる力 -We Create-

#### メンテナンス・サポート

お客様が安定的にITシステムを  
活用するための技術支援・維持運用

システム管理/運用力

#### データセンター・通信機器販売等

データセンターの運営管理サービス  
通信端末機器の販売・保守サービス等

つなぐ力 -We Connect



NTT データグループは、情報技術で  
新しい「しくみ」や「価値」を創造し、  
より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する

1

会社紹介

**2**

**可視化の取り組み**

3

定量・定性情報の開示検討

4

対話における着目点

# インパクトに関する社内での取り組み状況

## ①可視化

現場ニーズと合致するプロジェクトの可視化

- 【事例①】 ボイスタ！ ~ シニア向け スマートスピーカー
- 【事例②】 キャッシュレスソリューション

## ②社員への浸透

前年度の取組結果を踏まえ施策強化

- 共通KPI「サステナビリティ実践の基盤強化」での取り組み強化
- インパクト可視化WS パッケージの作成・配布
- 事例共有会

## ③規則制定への関与

業界動向を踏まえ、積極的な関与

- |                        |      |
|------------------------|------|
| インパクトコンソーシアム           | 金融庁  |
| 金融・資本市場委員会             | 経団連  |
| 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ | SIMI |



# 社員・組織行動変容に向けた活動の拡大

浸透の  
ステップ

認知

理解

共感

実践

協働

【全社員対象】  
サステナビリティ経営研修



【階層別】

7月	新任部長
通年	転籍・経験者
10月	新任課長代理
1月	育成総合
4月	新入社員
4月	新任課長

広くあまねく知る

Case Book



SXセミナー



サステナビリティポータル  
会社HP、“talentbook”



詳しく知る

CAMPFIRE



サステナビリティコミュニティ

600名以上参加中



双方向に交流する

共通KPI

サステナビリティ実践につながるワークショップまたは社外支援活動等への社員参加率:80%



自律的に学ぶ0

サステナ関連オファリングの  
拡大へ...

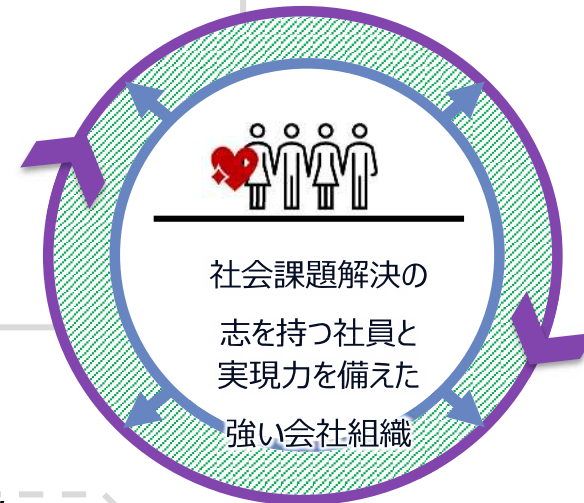
社員のサステナビリティ  
認知・実践に関する

アンケート  
FY2022



倍増

FY2023



社会・環境インパクト  
の考え方を学ぶ

サービス等について改めて学ぶ  
(有識者より)

サービス等が**生み出している**  
**社会・環境課題**について検討する

さらに付加できる**社会・環境**  
**インパクトがあるか検討**する

社会インパクトを  
数値で表現する

1

会社紹介

2

可視化の取り組み

**3**

**定量・定性情報の開示検討**

4

対話における着目点

# 価値創造プロセス

外部環境

インプット

ビジネスモデル

アウトプット

アウトカム

機会とリスク

マテリアリティ  
(重要課題)

地政学

為替・金利  
の変動・  
インフレーション  
進行

AIの利活用・先  
進技術  
への対応

気候変動に  
関するリスク

経営資源

人的資本

- 50カ国・地域超え  
約195,000人社員
- 高い社員エンゲージメント

知的資本

- 世界トップレベルの技術力
- ベストプラクティス、  
サービスなどこれまで培った  
アセット

社会・関係資本

- 世界中に幅広い業界の  
顧客とパートナー
- ITサービス市場シェアを  
持つブランド

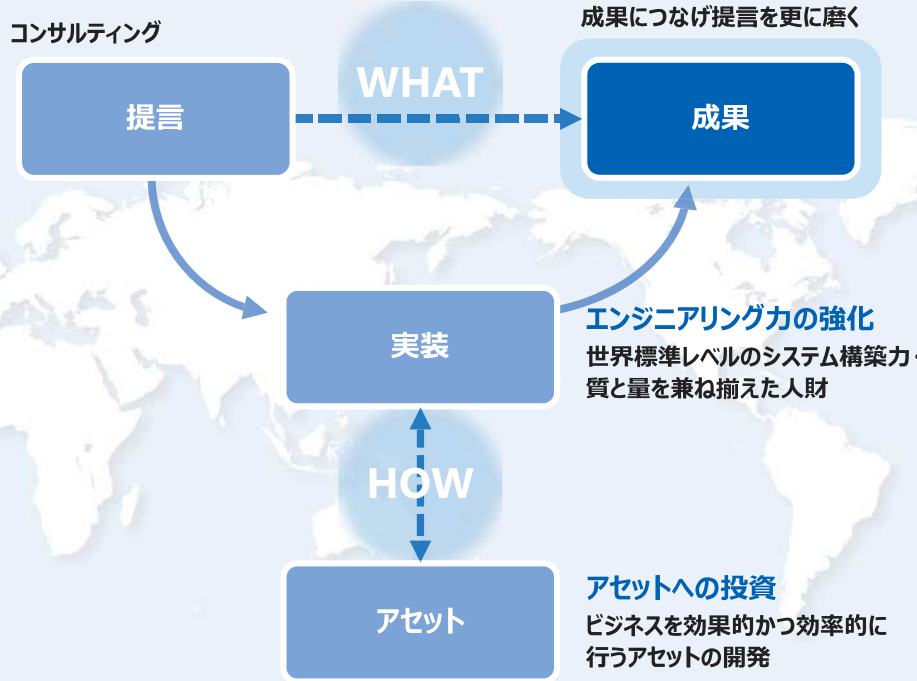
財務資本

- 高い格付
- キャッシュ創出力

お客様・社会ニーズを把握したコンサルティング力と  
最先端テクノロジーを活用した実装力により  
最適なサービス/ソリューションを提供

コンサルティング力の強化  
経営課題を起点にした  
コンサルティング

デジタル競争力強化  
提言を言って終わりではなく、  
成果につなげ提言を更に磨く



Best Place to Work

多様な人財による総合力の発揮  
多様性を受け入れ、スキルを開発し、  
働き甲斐を感じられる職場環境を整備

事業/企業活動を通じた提供価値

お客様

- IT・共創により新しい  
価値創出
- セキュリティや安定運用など、  
安心・安全なITサービス

お客様の  
事業拡大

環境

- 脱炭素、資源・自然資本の循環を支援する  
サービス

地域社会

- サービス提供による地域社会の発展、QOLの  
向上

経営目標

財務： 連結売上高約4.7兆円  
連結営業利益率10.0%  
海外EBITA率10.0%  
世界中に顧客基盤120社

社会価値：

株主還元

成長の原資確保

情報技術で、  
新しい「しみ」や  
「価値」を創造し、  
より豊かで  
調和のとれた社会を  
実現

企業価値の向上

Realizing a  
Sustainable Future  
マテリアリティ  
(重要課題)の解決

Environment

Regenerating  
Ecosystems

未来に向けた  
環境資本の保全

Economy

Clients' Growth

サステナブルな  
社会を支える  
企業の成長

Society

Inclusive Society

誰もが健康で幸福に  
暮らせる社会の実現

\*1 M&A・構造改革等の一時的なコストを除く  
\*2 年間売上高50億円以上（日本）、もしくは50百万  
米ドル以上（日本以外）のお客様



# 企業理念の実践により社会インパクトを創出



## サステナビリティCasebookにて可視化 《定量・定性》



### Wingcopter

ドローンで速く効率的に医療用品を届け、マラウイの人々の生活を守る



### CATCH&GO

「商品を手にとって出るだけ」レジに並ばずにお買い物  
利用者の利便性向上と従業員の省力化を実現



### Work Re:Invention

リアルとデジタルのメリットを活かした  
新しい働き方を提案



### C-Turtle

サプライチェーンで削減努力を共有し、  
脱炭素化



### コネクテッドカーデータの活用

日々の運転行動から脳の健康状態を推測し  
認知機能低下を早期発見・運転事故防止へ



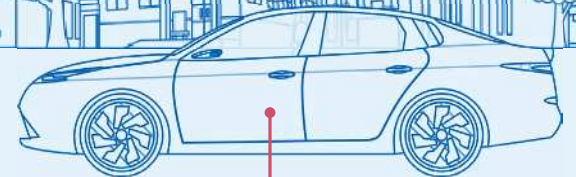
### D-Resilio

災害対策業務の効率化を支援  
するデジタル防災プラットフォーム



### PITON

システムのオープン化で持続可能な金融  
取引を実現





# 【事例①】社会課題解決を目的としたソリューションの可視化

めざす社会やメリットの訴求はするものの、具体的な数値での効果表現は、これまでできていなかった

取組中  
の事例

## ボイスタ!

シニア向けスマートスピーカーサービス

“声をかけるだけ”だから、誰もが使いやすい。  
シニアと社会を『つなぐ』、新しいサービス



Alexa搭載 Amazon Echo Show 8

ソリューション名：ボイスタ！

解決したい社会課題：高齢化社会

マテリアリティ：Digital Accessibility

支援事業者：&PUBLIC

現場目的：ビジョンの明確化

社員エンゲージメントの向上



### 誰一人取り残さない“well-being”で豊かな暮らし～私たちができること～

近年、リアルサービスのオンライン化が加速し、様々なサービスがデジタルを中心に展開されるようになりました。しかし、スマートフォンなどのデジタル機器の操作はシニアには難しく、生活を豊かにする様々なサービスにオンラインでつながることが出来ていません。私たちは、“Well-Being”で豊かな暮らしにつながる、人にやさしいデジタルを、誰もが享受できる社会の実現を目指しています。



© 2024 NTT DATA Corporation

NTT DATA

5

### 音声操作とボイスタの対話アプリで、シニアが使える

スマホやタブレットと異なり、「やりたいことをただ口で言えばいい」は、シニアの味方。ボイスタ！は音声IFの特長を活かし、シニアが使いやすい対話型アプリを開発、シニアのためのサービスづくりを追求しています。

#### スマートスピーカーはシニアの味方



【東京都プログラマー】  
政府有識者会議  
「デジタル社会構想会議」構成員  
香岡正子さん

スマートスピーカーを家で使っているんですが、将来的にはこれが一番高齢者の味方になってくれるんじゃないかと思っています。というのは、パソコンやスマートフォンでも、操作手順がある程度覚えないと、どうしても使えないんです。スマートスピーカーは操作手順などを学習する負担が他のデバイスより非常に少ない。普通の言葉（しゃべり）はしれればOKです。

https://ip-qol.jp/boista/03/15000021/0215000001/07-21

#### ボイスタ！独自の対話型アプリ



利用者の  
**9割**  
が「分かりやすい／簡単」  
と回答  
（N=1000のアンケート結果）

スマートスピーカーから対話型を検索するからシニアが使える

#### シニアに寄り添ったサービスづくり



シニアの目線から多くのご意見を頂きながら、開発を行いました

© 2024 NTT DATA Corporation

NTT DATA

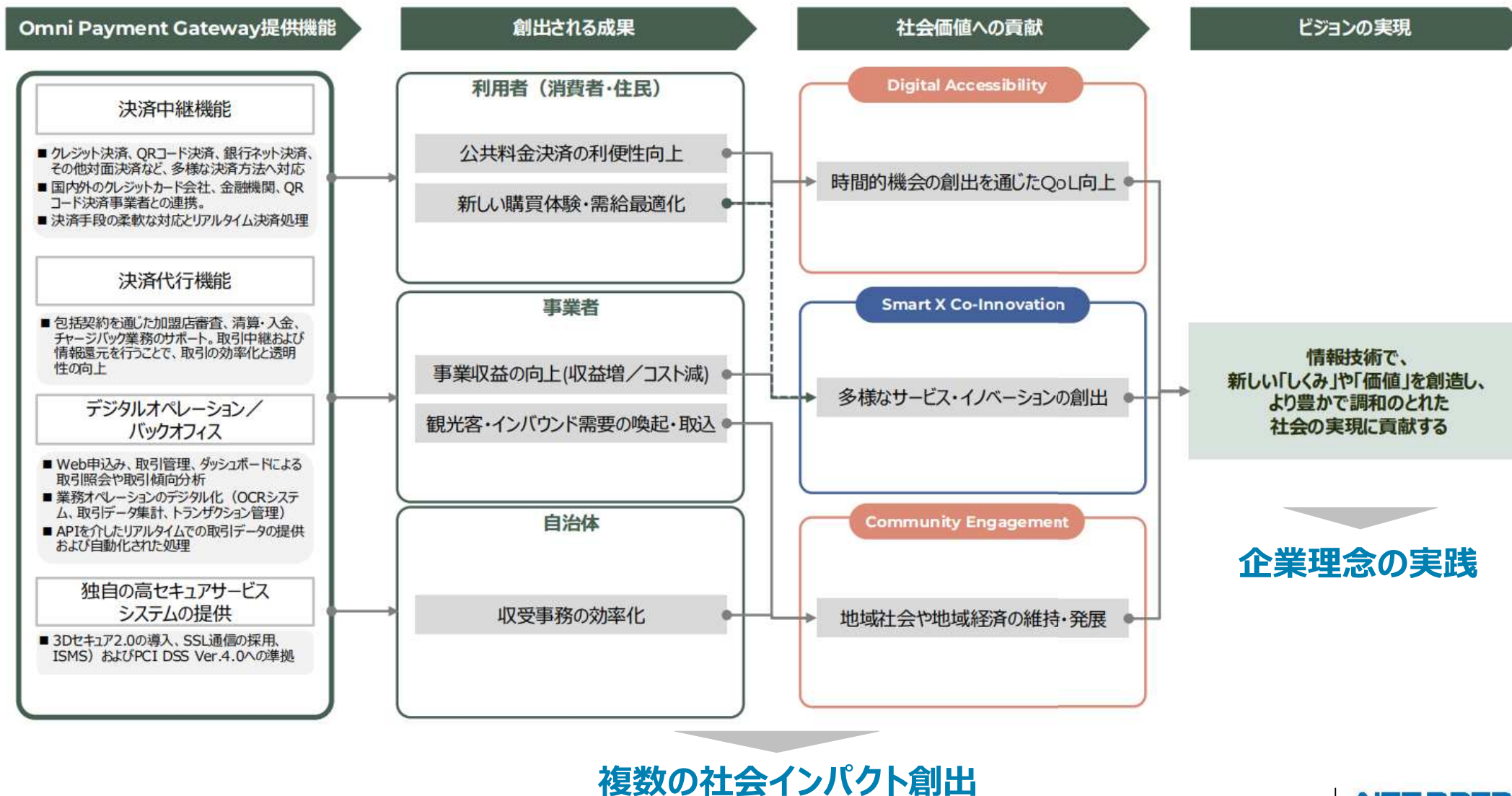
7





# 【事例②】キャッシュレスソリューションの可視化

## キャッシュレス決済の普及促進を通じて、NTTデータのビジョン実現に貢献



1 会社紹介 <1分>

2 可視化の取り組み <1分>

3 定量・定性情報の開示検討 <5分>

**4 対話における着目点 <3分>**



# 投資家との対話のための開示ツール

開示ツールそれぞれは継続的な情報拡充や投資家からのフィードバック・要望を踏まえた改善により向上しているものの、  
広範かつ大量の情報のため、対話の際にはポイントを絞った効果的な活用が求められる

⇒ **インパクトも含めた「対話のためポジションペーパー」の必要性**

## 統合レポート2024

<https://www.nttdata.com/global/ja/investors/library/ar/>



## サステナビリティレポート

### Data Book

### Case Book

<https://www.nttdata.com/global/ja/about-us/sustainability/report/>



## 決算説明会関連資料

<https://www.nttdata.com/global/ja/investors/library/earnings/>



# IR活動状況

第4四半期 1-3月

第1四半期 4-6月

第2四半期 7-9月

第3四半期 10-12月



決算発表

● 第3四半期決算

● 期末決算

● 第1四半期決算

● 第2四半期決算

投資家面談

カンファレンス

ロードショー

株主総会・シェアホルダー  
リレーションズ

その他IRイベント

国内外IR対話実績

投資家の声を収集・分析  
年4回

● 個人投資家説明会

合計 107件

投資家面談

カンファレンス・ロードショー

シェアホルダーリレーションズ

ESGミーティング

決算発表後に投資家の懸念に対し説明を行い、中長期的な成長への道筋について理解浸透を図る

海外IR対投資家の関心及び政策投資家の投資状況

株主総会に向け、株主とのIR対話を実践し反対票のリスク低減を狙う。議決権行使結果は平均執行率98%

統合レポートやサステナビリティレポートを基に、当社サステナビリティ戦略のアップデートを実施

シェアホルダー  
リレーションズ → ● 定時株主総会 → ● 総議案の反対票を分析

● 有価証券報告書発行

個人投資家  
説明会

● 事業  
説明会

● 個人投資家  
説明会

● 統合レポート発行  
サステナビリティレポート

● ESG  
ミーティング

● 個人投資家  
説明会

合計 150件

合計 140件

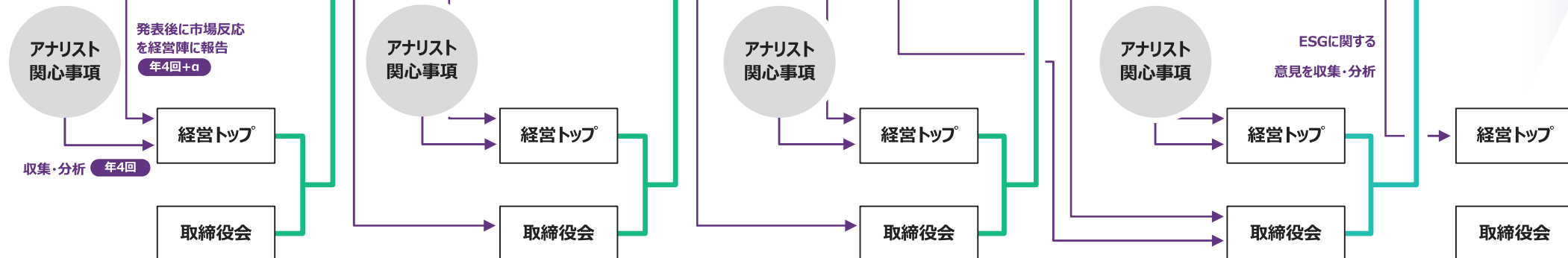
合計 約150件

年間多数のリレーション機会がある中で、  
当社IRおよび投資家の双方から「インパクト」を  
アジェンダ・テーマとした対話が十分できてない（実態）

## 次の経営アクション さらなるIR活動へ

対話イベントおよび対話

経営陣へのフィードバック



# 課題として認識していること／お聞きしたいこと

1

インパクト可視化を自力で行う手法・標準化はまだ道半ば

自発的な実施 ⇒ 自力実施 ⇒ 全社で実施 ⇒ 標準化

⇒ 社会の基盤となるシステムのような、確実に裨益しているソリューションも社会価値を示す必要はあるのか？

2

プロジェクト毎に進めても個別のインパクトに留まってしまう

B to B企業および幅広い事業をとらえ「NTT DATAトータルとして生み出すインパクト」をどう表現できるか

⇒ 事業・企業全体の社会価値の可視化基準として、投資家の観点で重視しているものは何か？

3

インパクト可視化ができていくウエイトが事業全体に比してあまりに低い

事業価値を個別に分析・開示（SOTP：Sum of the Parts）し、その中でインパクトを特定・可視化してはどうか

⇒ 個々のサービス・ソリューションの社会価値の可視化は、投資判断にどの程度の影響を与えるのか？

4

インパクトをアジェンダに（積極的に）織り込んだ対話のトライアル&エラーを重ねていく

The image features a low-angle, wide shot of a modern city skyline under a clear blue sky. Two prominent skyscrapers with white facades and dark window bands are the central focus. Other buildings of varying heights and architectural styles are visible in the background and foreground. The overall scene is brightly lit, suggesting a clear day. The text 'NTT Data' is superimposed in the center of the image.

**NTT Data**